

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
1	公共的空間安全・安心確保事業	①— ②— ③公共施設の感染防止対策に必要なマスク・消毒液等の配備、隔壁の設置、検温の実施体制確保に係る経費(対象施設) こども園、民営保育所、放課後児童クラブ、障がい者施設、小学校、中学校、社会教育施設、体育施設、役場庁舎、役場各支所、保健センター、斎場 計37施設	R2.4 ～ R3.3	20,426,044	20,426,044	18,926,044	【事業実績】 20,426千円 【内訳】 消耗品費15,356千円 手数料1,172千円 工事請負費1,760千円 備品購入費2,138千円	各施設の配備・設置することにより、施設内での感染防止につながった。
2	防災活動支援事業	①— ②— ③指定避難所の衛生環境を保つためマスク・消毒液等を備蓄、発熱者検知用サーマルカメラ・隔離テントを配備(対象施設) 指定避難所 11施設(一次開設分)	R2.4 ～ R2.11	7,451,135	7,451,135	7,451,135	【整備施設数】 11施設 【事業実績】 消耗品費4,560千円 発熱者検知用サーマルカメラ2,891千円	指定避難所のうち一次開設11施設に配備することにより、避難所開設時における入口での健康状態のセルフチェックが可能となったほか、室内での衛生用品を揃えることによって、感染リスクの低減が図られた。
3	高齢世帯等衛生用品支援事業	①②新型コロナウイルス感染症から、高齢者、妊婦、基礎疾患がある方などの健康を守るため、マスク・消毒液を配布 ③対象者 高齢世帯 3,700人、妊婦 30人、基礎疾患患者 20人	R3.1 ～ R3.3	18,194,967	18,194,967	18,194,967	【配布実績】 高齢世帯3,684人 妊婦18人 基礎疾患患者11人	高齢者、妊婦、基礎疾患がある方など、重症化リスクが高い方に対し、優先的にマスクや消毒液を配布したことで、安心につながった。
4	感染症病原体拡散防止事業	① イ 感染症の病原体で汚染された施設・器具等の消毒を適切かつ迅速に行い汚染の拡散防止を図る ロ 感染者への問診等における感染の防止 ②③ 防護服、手袋、防止、感染予防マスク:500セット 消毒液	R2.7 ～ R3.3	1,985,024	1,985,024	1,985,024	【事業実績】 防護服40枚、手袋1,000組、不織布マスク486,360枚、ニトリルグローブ1,000枚、加湿器21台、パルスオキシメーター88台、二酸化炭素濃度測定器56台、手指消毒液1,256本、非接触型体温計183台、消毒用アルコール549L、納体袋10枚 等	①防護服等の保健衛生用品を購入阿した。 ②ニトリルグローブ、不織布マスクなどの衛生用品を購入できる数量から調達し、感染症対策を行うことができた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
5	社会システム維持のための衛生確保事業	①— ②— ③ 町内で福祉サービス(介護・障害)を運営する法人 200千円×9法人	R2.5 ～ R2.6	400,000	400,000	400,000	【交付実績】 2法人	各施設の配備・設置することにより、施設内での感染防止につながった。
				1,400,000	1,400,000	1,400,000	【交付実績】 7法人	高齢者等重症化リスクが高い方へのサービス提供が求められる福祉サービス事業所に対し、感染症予防対策に係る経費の一部を支援することで、積極的な予防対策を行うことができた。
6	金利、保証料などの金融面での支援事業	①経営環境が悪化した中小企業者(個人事業主含む)が、金融機関から事業資金の融資を受けた場合に、その利子及び保証料を補助することにより事業者の返済に係る負担を軽減し、事業継続を図る。 ②③交付金を充当する経費の内容、積算根拠 ・利子補給補助金 20,037千円 融資総額限度: 15億円、年利率: 2.0%以内 ・信用保証料補給補助金 38,400千円 保証料の全額を補助	R2.4 ～ R3.3	24,692,325	24,692,325	24,691,860	【交付実績】 融資利子補給補助金 6,255千円、21件 信用保証料補給補助金 18,437千円、21件	売り上げが減少する事業者の経営維持が図られた。
7	ひとり親子育て世帯臨時給付金	①新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、一定所得以下のひとり親子育て世帯の生活を支援する ②③ 30千円(1世帯)×63世帯	R2.5 ～ R3.3	1,710,000	1,710,000	1,710,000	【交付実績】 57世帯	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一定所得以下のひとり親子育て世帯に対し、経済的な支援を行うことができた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
8	地域企業経営継続支援事業補助金	①中小企業者に対して、事業に係る家賃の補助を講じることで事業者の負担軽減を図る。 ②③ イ 補助率 家賃の1/2(一月の上限100千円) ロ 補助対象期間 令和2年4月以降の連続する3カ月間 ハ 事業者数:38事業者(見込み)	R2.4 ~ R3.3	1,728,000	1,728,000	864,000	【交付実績】 27事業者	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者の経営維持が図られた。
9	中小企業者等事業継続緊急支援給付金	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者に対して、緊急かつ一時的に事業経費を支援することで事業の継続を下支えする ②③ イ 対象業種 宿泊業、飲食業、タクシー業 ロ 給付金額 一律200千円 ハ 対象者数:70事業者(見込み)	R2.5 ~ R2.7	8,200,000	8,200,000	8,200,000	【交付実績】 41事業者	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者の経営維持が図られた。
10	町内消費購買拡大事業補助金	①新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した地域経済を活性化させるため、プレミアム付商品券を発行し地元消費の拡大を図る。 ②1万2千円分の商品券を1万円で販売し、その差額(プレミアム分)及び事業執行に係る事務費(商品券の発送、販売、換金等)を交付対象経費とする。 ※町の当初予算で措置済みである3,000セット(プレミアム率1割)分は交付金対象外とし、補正予算での追加分を交付金対象経費とする。 ③発行部数 10,000セット ・プレミアム分 17,000千円 ・事務費分 2,100千円 (需用費1,600千円、役務費300千円、パソコン等リース料50千円、人件費150千円) ※対象外(当初予算計上分):プレミアム分3,000千円、事務費分600千円	R2.5 ~ R3.3	18,645,000	18,645,000	18,645,000	【販売実績】 8,500セット	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ地域経済において、地元消費喚起の起爆剤として一定の経済効果が得られた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
11	申請手続等事業者支援事業	①事業者向け各種支援制度の相談・受付を商工会に委託し、迅速な事業者支援に結び付ける。 ②③ イ 委託先 商工会 ロ 対象経費 人件費、事務費	R2.5 ～ R3.3	1,023,000	1,023,000	1,023,000	【交付実績】 41事業者	売り上げが減少する事業者の経営維持を早期に図ることができた。
12	観光資源・地域経済回復支援事業	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、町の主要な観光地である「龍泉洞(町管理)」も一時休業したところであり、その影響は、町内の観光産業・飲食業を中心に深刻なものとなっている。 緊急事態宣言の段階的な解除に併せ、次の段階として官民を挙げた町内の経済活動の回復のためには、感染症の予防に配慮した「龍泉洞」の継続が不可欠である。 町では一般会計から「観光事業特別会計」に対して龍泉洞の事業継続に必要な繰出しを行うものである。 ※地方自治法第209条第2項の規定により、町条例で「観光事業特別会計」を設置し、町営の観光事業を区分経理している。 ②③ イ 経費の内容 観光事業特別会計繰出金 ロ 観光事業特別会計での充当経費 町有の観光施設の維持経費	R2.4 ～ R3.3	57,574,000	42,919,033	42,919,033	【事業実績】 42,919千円	町有観光施設のコロナ感染症対策機器整備及び施設改修、及び観光施設の事業継続が図られた。
13	高齢者雇用対策臨時支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、仕事が減少した高齢者の雇用を確保するため、町シルバー人材センターを活用し公共施設の環境整備を行う ②③委託料 2,433千円	R2.7 ～ R3.3	1,353,786	1,353,786	1,353,739	【事業実績】 1,354千円	町シルバー人材センターに対し、公共施設の環境整備を委託したことにより、新型コロナウイルス感染症の影響により仕事が減少した高齢者の雇用確保に寄与することができた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
14	寝たきり高齢者在宅介護臨時給付金	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、感染予防に配慮しつつ寝たきり高齢者を在宅介護している同居家族の精神的・経済的負担の軽減を図るため、在宅介護臨時給付金を給付 ②③交付金 1,050千円(30千円/1世帯×35世帯)	R2.7 ～ R2.11	660,000	660,000	660,000	【交付実績】 22世帯	重症化リスクが高い寝たきり高齢者を在宅で介護する家族に対し給付金を支給したことで、家族の精神的・経済的負担の軽減を図ることができた。
15	子育て支援特別給付金	①国の「特別定額給付金(10万円)」の対象とならない令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出生した子供のいる世帯に対して、出生した子供一人当たり10万円を支給 ②③交付金 4,000千円(100千円×40人)	R2.7 ～ R3.3	2,800,000	2,800,000	2,800,000	【交付実績】 28人	国の臨時特別給付金の支給対象とならなかった子育て世帯(令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出生した児童のいる世帯)に対し、経済的な支援を行うことができた。
16	発熱者検知用サーマルカメラ配備事業	①不特定多数の来訪者のある道の駅、龍泉洞及び岩泉町民会館における感染症の拡大防止のため、発熱のある方を検知するサーマルカメラを配備 ②③備品購入費 7,081千円(サーマルカメラ 7台)	R2.7 ～ R2.11	5,735,180	5,735,180	6,745,688	【事業実績】 6台	左記施設において発熱者検知用サーマルカメラを設置し、感染症の拡大を抑止することができ、住民等が安心して生活することができた。
				1,010,680	1,010,680		【事業実績】 1台	多数来場イベント時、検温での混雑を解消することができた。
17	肉用牛農家緊急支援事業補助金	①肉用牛子牛価格が大幅に下落し、生産者の減少が危惧されることから、黒毛和種及び日本短角種の繁殖牛飼養農家に対して、繁殖用雌子牛を自家保留した場合に1頭あたり10万円の奨励金を交付 ②③補助金 8,500千円(100千円/頭×85頭)	R2.7 ～ R3.3	8,300,000	8,300,000	8,300,000	【交付実績】 83頭	奨励金により、自家保留する農家が増加し、飼養頭数の維持、農家の経営維持が図られた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
18	町内産牛肉消費拡大緊急支援事業補助金	①国内の牛肉流通が滞り、枝肉価格が大幅に下落している状況にあることから、需要を喚起するため、消費拡大キャンペーンを実施 【消費拡大キャンペーンの概要】 ・道の駅売店及び通販における期間限定フェア価格での販売 ・道の駅レストランでの牛肉料理フェアの開催 ②③補助金 6,475千円 ・牛肉購入経費9,550千円×1/2=4,775千円 ・キャンペーン経費1,700千円×10/10=1,700千円	R2.7 ～ R3.3	6,475,000	6,475,000	6,475,000	【事業実績】 短角牛肉2,200kg 黒毛和牛肉570kg	消費拡大キャンペーンにより需要が喚起され、牛肉流通の滞りが解消された。
19	広葉樹原木一時貯留緊急支援事業補助金	①感染症の拡大に伴い広葉樹のチップ生産に影響が生じていることから、感染症拡大以降に必要な、一次保管場所から工場までの輸送経費(掛かり増し経費)に対して支援 ②③補助金 3,600千円(600円/㎡×6,000㎡)	R2.7 ～ R3.3	1,557,780	1,557,780	1,557,780	【運搬実績】 2,596.3㎡	チップ生産の滞りにより、原木一時保管場所の確保が必要となり、一次保管場所から工場までの輸送経費(掛かり増し経費)を支援することで素材生産者の生産活動の継続が図られた。
20	漁業共済加入促進緊急事業補助金	①新型コロナウイルス感染症の影響下での海産物の価格低迷の状況を踏まえ、採貝・採藻漁業の漁業共済への加入を支援し、漁業者の経営継続を図る ②③補助金 1,240千円 ・養殖共済(ワカメ・コンブ) 掛金の50% ・採貝漁業共済(アワビ) 掛金の50%	R2.7 ～ R3.3	1,533,344	1,533,344	1,533,000	【事業実績】 養殖共済14件 採貝漁業共済140件	取引価格の低迷等、不安定な情勢にあることから、採貝・採藻漁業の減収を補填する漁業共済への加入が促進され、漁業者の経営継続が図られた。
21	中小企業者等事業継続支援給付金	①売上等が減少した中小企業者(個人事業主含む)の事業継続を下支えするため、1事業者当たり20万円の事業継続支援給付金を給付 ②③交付金 70,000千円(200千円×350事業者)	R2.7 ～ R3.1	48,000,000	48,000,000	16,600,000	【交付実績】 240事業者	売り上げが減少する事業者の経営維持が図られた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業 期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
22	事業継続支援給付金 申請支援事業	①中小企業者等が行う「中小企業者等事業継続支援給付金」の申請事務を支援 ②③委託料 1,408千円	R2.5 ～ R3.3	886,600	886,600	886,080	【交付実績】 240事業者	売上げが減少する事業者の経営維持が早期に図られた。
23	町緊急誘客対策協議 会事業	①宿泊業者及び町で構成する「岩泉町緊急誘客対策協議会」が主体となり、旅行エージェントと連携して宿泊プランを造成するなど、感染症の拡大で深刻な影響が生じている町内の観光需要の掘り起こしを行う ②③負担金 2,000千円	R2.7 ～ R2.9	2,000,000	2,000,000	2,000,000	【事業実績】 商品造成1,000人泊 ナイト・ドラゴンブルー428人	旅行エージェントと連携して宿泊プランを創出した。新たな観光コンテンツとして閉洞後の龍泉洞内でのイベント「ナイトドラゴンブルー」を実施し、町内への誘客促進が図られた。
24	宿泊事業者緊急対策 支援事業補助金	①感染症の影響による観光需要の低迷からの回復を目指し、観光客等に対する宿泊料金の割引の助成事業を行う ②③補助金 16,676千円 ・観光客等が1泊以上宿泊する場合、1人泊当たり5,670円を上限として助成。5,670円×2,500人泊。 ・商品券(1,000円)助成。1,000円×2,500人。	R2.7 ～ R3.3	19,845,302	19,845,302	19,845,000	【宿泊実績】 2,990人泊	観光客の町内への誘客を図り、宿泊事業者等の売上げ貢献や事業継続、観光施設の利用等、町内各事業所への波及効果があった。
25	団体旅行誘客緊急助 成事業補助金	①団体旅行の緊急誘客対策として、町内の宿泊施設に1泊以上する団体旅行を主催する旅行会社に対し、バス1台当たり3万円を助成 ②③補助金 3,690千円(30千円×123台)	R2.7 ～ R2.12	240,000	240,000	240,000	【交付実績】 7件	旅行エージェントと連携して助成を実施し、町内への誘客につなげることができた。
26	町出身大学生等支援 事業	①感染症拡大に伴う厳しい経済状況の中、学業に励む町出身の町外在住大学生等にふるさとの地場産品を送ることで、学びや生活を支援 ②③ ・消耗品費(地場産品) 1,500千円(15千円×100人) ・通信運搬費(送料) 150千円(1.5千円×100人)	R2.7 ～ R3.2	1,780,393	1,780,393	1,780,393	【発送実績】 104件	当初想定を上回る学生からの申請があり、生活への支援のほか、岩泉への愛郷心を養うことができた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業 期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
27	図書館書籍感染症予防対策事業	①感染症対策のため町立図書館に図書除菌機を配備 ②③ ・図書除菌機 317千円(1台) ・消耗品費 6千円(紫外線灯)	R2.7 ～ R3.3	304,700	304,700	303,760	【事業実績】 消耗品費6千円 図書除菌機299千円	帯出者が、安心して貸出を利用することができた。
28	学校給食町内産食材活用促進事業	①感染症の影響を受ける学校給食関係事業者の支援のため、町内産食材等を用いた学校給食を提供する ②③ 賄材料費 4,974千円(児童・生徒・職員 780人分) (町立小中学校、県立岩泉高等学校へ提供)	R2.7 ～ R3.3	4,974,000	4,974,000	4,973,200	【購入実績】 食材26品目 飲むヨーグルト12,197本	地場産食材を優先的に使用することで、生産者や企業に対し経済支援を行うことができ、また、子どもたちが特産品を学ぶ機会にもなった。
29	こども園給食町内産食材活用促進事業	①感染症の影響を受けている町内事業者の支援のため、町内産食材等を用いたこども園給食を提供する ②③ 賄材料費 2,127千円(児童・職員 291人分) (町立こども園、民営保育所へ提供)	R2.8 ～ R3.3	1,883,275	1,883,275	1,882,620	【購入実績】 8社(食材24品目)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内業者に対し、経済的な支援を行うことができた。
30	農業者経営継続支援給付金(耕種農家)	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、農作物の栽培に必要な生産資材等に高騰が生じ、生産費が増加していることから、栽培等に係る経費を支援することで、農家経営の継続を図る ②③交付金 4,800千円 前年の農業収入額に応じ1農家当たり次のとおり給付 ・100千円以上 600千円未満 30千円 ・600千円以上1,200千円未満 50千円 ・1,200千円以上 80千円	R2.8 ～ R2.2	1,640,000	1,640,000	1,640,000	【交付実績】 25戸	売上高等が減少する中、営農継続に必要な生産資材等の経費に対して支援することにより、農家の経営継続が図られた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
31	肥育経営農家緊急支援事業補助金	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国内の牛肉流通が滞留し、枝肉価格が大幅に下落している状況が続くと予想されていることから、肥育農家の経営を下支えするため、肉用牛肥育経営安定交付金に上乗せ補助を行い、農家の経営継続を図る ②③補助金 4,500千円(15千円×300頭)	R2.8 ～ R3.7	1,560,000	1,560,000	1,560,000	【交付実績】 89頭	肉用牛肥育経営安定交付金に上乗せ補助を行うことで、肥育経営の下支えとなり、農家の経営継続が図られた。
32	農業者経営継続支援給付金(畜産農家)	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、子牛市場価格の低下など、生産物価格に影響が生じていることから、家畜の飼養等に係る経費を支援することで、農家経営の継続を図る ②③交付金 6,080千円 飼養頭数規模に応じ1農家当たり次のとおり給付 ・9頭以下 30千円 ・10～19頭 50千円 ・20頭以上 80千円	R2.8 ～ R3.3	1,780,000	1,780,000	1,780,000	【交付実績】 27戸	売上高等が減少する中、営農継続に必要な生産資材等の経費に対して支援することにより、農家の経営維持が図られた。
33	木材チップ製造新規設備導入支援事業補助金	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、町内木材チップ工場のチップ納入先である製紙工場の生産活動が低迷し、先行きが見通せない状況にあることから、今後の製造・出荷計画における新たな取り組みに対して補助し、工場の維持とチップの安定生産により、素材生産者の原木生産の継続を図る ②③ 木材チップ製造新規設備導入支援事業補助金 2,970千円 (新たな製造ライン増設費用 3,300千円×9/10)	R2.8 ～ R3.1	2,970,000	2,970,000	2,970,000	【事業実績】 広葉樹丸太搬入コンベア製作取付一式2,970千円	これまでの製造工程は、皮はぎしてからチップ化するラインのみであり、皮はぎ工程を省略し皮ごとチップ化する新たなラインを増設する費用に対し支援することでチップの安定生産に繋がり事業者の経営維持が図られた。
34	木材チップ流通促進支援事業補助金	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、町内木材チップ工場のチップ納入先である製紙工場の生産活動が低迷し、先行きが見通せない状況にあることから、今後の製造・出荷計画における新たな取り組みに対して補助し、工場の維持とチップの安定生産により、素材生産者の原木生産の継続を図る ②③ 木材チップ流通促進支援事業補助金 980千円 (新たな納入先の掛かり増し運送経費140千円×7ヶ月)	R2.8 ～ R3.3	2,452,023	2,452,023	2,452,000	【運搬実績】 3,502.89t	新たな納品先である八戸市のバイオマス発電工場への輸送費掛かり増し分を支援することで、チップの流通が確保され、事業者の経営維持が図られた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
35	林業者経営継続支援 給付金	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、木材需要が低下し、林業事業者等の出荷制限による減収が生じていることから、林業経営等に係る経費を支援することで、林業経営の継続を図る ②③ 交付金 4,400千円 (200千円×22事業者)	R2.8 ～ R3.3	4,400,000	4,400,000	4,400,000	【交付実績】 23事業者	売上高等が減少する中、林業経営継続に必要な生産資材等の経費に対して支援することにより、事業者の経営維持が図られた。
36	漁業者経営継続支援 給付金	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、水産物の流通に影響が生じていることから、漁業者の漁船維持等に係る経費を支援することで、漁業経営の継続を図る ②③ 交付金 7,790千円 漁船規模に応じ1漁業者当たり次のとおり給付 ・0.3t以下 30千円 ・0.4～0.9t 50千円 ・1.0～2.9t 80千円 ・3.0～4.9t 120千円 ・5.0～9.9t 200千円	R2.8 ～ R3.3	6,730,000	6,730,000	6,730,000	【交付実績】 144事業者	売上高等が減少する中、漁業経営継続に必要な漁船維持等の経費に対して支援することにより、漁業者の経営維持が図られた。
37	職員テレワーク環境整備 事業	①新型コロナウイルス感染症対策の一環として、セキュリティの高い環境で在宅勤務できるテレワーク環境を整備 ②③備品購入費 11,510千円 ・セキュア通信用専用機器 1台 ・セキュア通信用証明書 30本 ・シンクライアント端末 30台 ・職員研修用DVD 3枚	R2.9 ～ R3.11	8,528,300	8,528,300	8,528,300	【購入実績】 セキュア通信用専用機器1台 セキュア通信用証明書30本 シンクライアント端末30台 職員研修用DVD 3枚	テレワーク環境を整備したことにより、庁舎内での集団感染のリスク軽減が図られた。
38	臨時窓口開設用戸籍 ネットワーク改修事業	①新型コロナウイルス感染者が確認され、役場本庁舎の窓口の閉鎖が必要となる場合に備え、役場分庁舎等に臨時窓口を開設することにより、行政サービスの停止を招かないことを目的とする ②③委託料 1,270千円 ・戸籍システム設定改修 566千円 ・基幹ネットワーク改修 704千円	R2.9 ～ R3.3	1,269,400	1,269,400	1,269,400	【事業実績】 1,269千円	有事の際、最低限の行政サービスの継続ができる体制を整えた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
39	季節性インフルエンザ 予防接種事業	<p>①季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症との同時流行の抑制を図り、また、重症化のリスクの高い高齢者や妊婦、幼児・児童・生徒に加え、町内の医療・介護・学校・保育等の現場を支える従事者の健康を守るため、季節性インフルエンザの予防接種費用の自己負担額を無料とし、予防接種を奨励しようとするものである</p> <p>②③ 予防接種委託料 8,513千円 ・65歳以上の高齢者等 2,479人 ・妊婦 50人 ・町内に住所を有する高校生 202人 ・町内の医療・介護・学校・保育等の従事者 703人</p> <p>※65歳以上の高齢者等については、現行制度において既に自己負担額を1,500円に下げているが、今回は更に拡充し無料とするものである。拡充分を交付金対象経費としている。 中学生以下の小児については、現行制度において自己負担額を無料としており交付金対象外としている。</p>	R2.9 ～ R3.3	18,661,152	18,661,152	10,312,213	<p>【事業実績】 65歳以上の高齢者等2,810人 妊婦15人 町内に住所を有する高校生102人 町内の医療・介護・学校・保育等の従事者556人</p>	<p>①新型コロナウイルスとの同時流行の抑制を図ることを目的とし、費用助成対象者を拡大して実施した。 ②令和2年度の高齢者の接種率は約70%。令和元年度比で約10%増となった。 ③新型コロナウイルス感染症との同時流行を抑えることができ、医療機関の負担を軽減することができた。</p>
40	工場等感染対策支援 事業補助金	<p>①町の誘致企業における工場内のクラスター感染対策や、テレビ会議システムの導入の取り組みに対して支援しようとするものである。</p> <p>②③ 工場等感染対策支援事業補助金 15,190千円 次の補助対象経費の9割以内を補助(3,000千円を上限) ・サーマルカメラ設置 ・空調機器、網戸等 ・飛沫感染防止遮へい板設置 ・テレビ会議システム</p>	R2.9 ～ R3.3	14,275,446	14,275,446	14,275,357	<p>【交付実績】 6事業者</p>	<p>誘致企業の工場等に換気扇、エアコンやサーマルカメラの設置など感染対策を講じたことにより、工場内での集団感染のリスクが軽減された。</p>
41	岩泉町オリジナルデザ インマスクポケット配布 事業	<p>①新型コロナウイルス感染症対策として、食事の際にマスクを衛生的に一時保管できる抗菌ニス塗布の簡易封筒(マスクポケット)を作成し、町内飲食店や宿泊施設等に設置することで利用者の感染リスクを低減する</p> <p>②③ ・マスクポケット 5万部 印刷製本費 770千円 ・マスクポケット設置用スタンド 150個 消耗品費 66千円</p>	R2.9 ～ R2.11	660,000	660,000	659,800	<p>【配布実績】 5万部</p>	<p>マスクポケットを町内飲食店等に配布することで、利用者の感染リスクを低減が図られた。また、マスクポケットに町内の観光や物産の情報を印刷することで、観光客の周遊が促進された。</p>

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
42	龍泉洞温泉ホテル感染対策事業	①龍泉洞温泉ホテル(町有)の宿泊事業等を継続するため、施設の一部改修を行い、新型コロナウイルス感染症への感染対策を図る ②③不特定多数の来館者が行き交う、フロント・ロビー等の床を絨毯張りから、消毒作業が容易な木製の床に張り替え(約250㎡) ・設計監理委託料 495千円 ・感染対策工事 3,850千円	R2.9 ～ R3.3	4,180,000	4,180,000	4,180,000	【事業実績】 4,180千円 【内訳】 委託料385千円 工事請負費3,795千円	除菌作業などの感染症対策が容易となり、より安全で安心な宿泊が可能となった。
43	小中学校校内通信ネットワーク整備事業	①町内の小中学校に高速インターネット及び無線LANの環境を整えるため、校内通信ネットワーク工事を実施。なお、国の「公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金」の対象とならない部分について、本事業で実施するものである。 ②③ ・役場サーバ室ネットワーク改修及び既存校内LAN改修工事 9,942千円 ・庁内LAN改修工事 143千円	R3.10 ～ R4.3	8,897,900	8,897,900	8,897,320	【事業実績】 8,897千円	無線LANネットワークを各校に整備したことにより、コロナ禍でも校内の至るところで学習できる環境となった。
44	小中学校情報機器購入事業	①全児童生徒に1人1台の学習用端末を整備するとともに、教科担任の先生用(指導者用)端末を整備する。また、インターネット環境が整っていない家庭のオンライン学習支援等を想定し、整備する端末の一部をLTE対応端末とする ②③備品購入費 18,370千円 小学校 児童用254台、先生用40台 中学校 生徒用162台、先生用40台 ※上記のうち、次の費用を交付金対象経費とする ・国からの定額補助(45,000円/台)のある児童・生徒用の学習用端末(新規分)への上乗せ分 ・児童・生徒用の学習用端末(更新分) ・指導者用端末 ・端末設定ライセンス、フィルタリングソフト、サーバCAL、指導者用オフィスライセンス	R2.9 ～ R3.3	32,000,100	32,000,100	16,776,800	【事業実績】 小学校 児童用256台、先生用40台 中学校 生徒用164台、先生用40台	学習用端末を整備したことにより、在宅におけるオンライン学習支援等が可能となった。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
45	ロードレース大会記録測定委託事業	①従来種目ごとの一斉スタートで実施してきたが、スタート時の密状態を避けるため時間差スタートとし、参加者にICチップを装着して自動計測する ②③ 記録測定等委託料 361千円	R2.9 ～ R2.11	344,520	344,520	343,800	【事業実績】 345千円	参加者263名のスタート・ゴールを学年別などに区分して、実施できた。密集の緩和のコロナ感染対策を講じることができた。
46	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①各学校が感染症対策等を徹底しながら児童及び生徒の学習保障の新たな試みを実施するに当たり、学校長の判断のもと迅速かつ柔軟に対応できるよう学校教育活動の環境整備を支援 ②③ ・消耗品費 3,500千円 ・備品購入費 7,500千円	R2.9 ～ R3.3	10,825,749	10,825,749	5,710,749	【事業実績】 10,826千円 【内訳】 消耗品費3,604千円 備品購入費7,222千円	各学校における感染症対策により、集団感染の防止につながったとともに、安心して学習できる環境となった。
47	学校保健特別対策事業(単独)	①学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業の上乗せ事業として実施 ②③ ・消耗品費 155千円 ・備品購入費 64千円	R2.9 ～ R3.3	88,000	88,000	88,000	【事業実績】 消耗品費88千円	各学校における感染症対策により、集団感染の防止につながったとともに、安心して学習する環境を整備することができた。
48	スクールバス感染対策事業	①スクールバスにおける感染対策のため、乗車率の高いコース(1路線)について、スクールバスを増車することで密状態を回避しようとするものである。 ②③ スクールバス運行委託料 3,348千円 (1台を増車)	R2.7 ～ R3.3	3,461,150	3,461,150	3,460,400	【事業実績】 3,461千円	スクールバスを増車することで、密を回避し、集団感染の防止につながったとともに、安心して通学できる環境を整備することができた。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
49	新型コロナウイルス感染症対策資金融資利子補給補助金(基金)	①経営環境が悪化した中小企業者(個人事業主含む)が、金融機関から事業資金の融資を受けた場合に、その利子及び保証料を補助することにより事業者の返済に係る負担を軽減し、事業継続を図る。 ②③交付金を充当する経費の内容、積算根拠 ・利子補給補助金(令和3年度～令和6年度) 33,776千円 融資総額限度: 15億円、年利率: 2.0%以内	R2.12 ～ R3.3	21,826,172	21,826,172	21,825,938	【事業実績】 21,826千円(令和3年度以降補給分積立)	売り上げが減少する事業者の経営維持が図られた。
50	医療機関感染拡大防止対策支援事業補助金	①町内で唯一の入院機能を有する済生会岩泉病院に対し、新型コロナウイルス感染症の院内での感染拡大を防ぐため、感染拡大防止対策や診療体制確保等に要する費用を支援し、町民が安心できる地域医療体制を確保する。 ②③事業実施主体において、厚生労働省補助金「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(医療分)」を導入して実施する事業に対し、嵩上げ補助を行うもの。 (1)国庫補助金 6,600千円 (2)町補助金 6,600千円 (3)事業実主体 3,300千円	R2.10 ～ R3.3	6,600,000	6,600,000	6,600,000	【事業実績】 6,600千円	①済生会岩泉病院に補助金6,600千円を交付した。 ②町内の医療機関等の事業継続を支援し、地域医療体制の維持を図ることができた。
51	公共交通事業者運行継続支援金	①ICカード化などの感染症対策に取り組み、複数市町村にまたがる広域路線の運航を維持している乗合バス事業者に対して、運行継続支援金を交付することにより、広域路線の安全かつ安定した運行の維持を図るもの。 ②③広域路線における乗合バス事業者が、町内の運航に使用するバス車両台数に応じた支援とし、一台当たり100千円を交付する。 100千円×40台=4,000千円	R2.12 ～ R3.3	4,000,000	4,000,000	4,000,000	【交付実績】 2事業者 40台	安全かつ安定した運行の維持・確保ができた。特に、ICカードが導入されたことにより、乗客の支払い手続きの負担が減少した。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証

(単位:円)

No	事業名	事業概要(実施計画) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等)	事業期間	総事業費	補助対象事業費	うち交付金 充当経費	事業実績	事業効果
52	感染症予防対策事業	①- ②- ③公共施設の感染防止対策に必要なマスク・消毒液等の 配備、隔壁の設置、検温の実施体制確保に係る経費 (対象施設) こども園、民営保育所、放課後児童クラブ、障がい者施設、 小学校、中学校、社会教育施設、体育施設、役場庁舎、 役場各支所、保健センター、斎場 計37施設	R3.3 ~ R4.3	23,055,065	23,055,065	23,040,330	【事業実績】 23,055千円 【内訳】 消耗品費7,086千円 備品購入費15,969千円	各施設の配備・設置することにより、施設内での感染防止につながった。
53	宿泊事業者緊急対策 支援事業	①感染症の影響による観光需要の低迷からの回復を目指し、 観光客等に対する宿泊料金の割引の助成事業を行う ②③補助金 23,345千円 ・観光客等が1泊以上宿泊する場合、1人泊当たり5,670円 を上限として助成。5,670円×3,500人泊。 ・商品券(1,000円)助成。1,000円×3,500人。	R3.3 ~ R4.3	11,212,270	11,212,270	11,212,270	【宿泊実績】 1,681人泊	観光客の町内への誘客を図り、宿泊事業者等の売り上げ貢献や事業継続、観光施設の利用等、町内各事業所への波及効果があった。
54	町内消費購買拡大事業 補助金	①新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した地域 経済を活性化させるため、プレミアム付商品券を発行し地 元消費の拡大を図る。 ②1万2千円分の商品券を1万円で販売し、その差額(プ レミアム分)及び事業執行に係る事務費(商品券の発送、 販売、換金等)を交付対象経費とする。 ※町の当初予算で措置済みである3,000セット(プレミアム 率1割)分は交付金対象外とし、補正予算での追加分を交 付金対象経費とする。 ③発行部数 10,000セット ・プレミアム分 50,000千円 ・事務費分 2,400千円	R3.3 ~ R4.3	22,270,000	22,270,000	22,270,000	【販売実績】 10,000セット	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ地域経済において、地元消費喚起の起爆剤として一定の経済効果が図られた。
合計				486,456,782	471,801,815	409,329,000		